

ふたば賞 受賞

中野さとみ 作曲「てのひら」初演

加藤 良一 2024年9月23日

日本童謡協会主催の〔第46回童謡祭〕(9月7日板橋区民文化会館大ホール)において、中野さとみさんの「ふたば賞」受賞作品「**てのひら**」が、他の受賞作品「またきてね」「ぼくのけしごむ」とともに初演されました。演奏に先駆けて入賞者はスポットライトを受けて紹介されました。

「ふたば賞」とは、日本童謡協会が協会外の詩人と作曲家を発掘する目的で2020年に開設した、「子どもから大人まで楽しめる詩と曲」を広く募る、新作童謡作詩作曲コンクールです。詩部門の優秀3作品は、翌年の作曲部門コンクールの課題詩として作曲され新しい童謡として生み出されます。特長的なのは作品に順位をつけずすべて1位とするというところです。



言葉に沿って自然にメロディが流れてきた

横山里香さん作詞、中野さとみさん作曲の「**でのひら**」は塩野雅子さんの歌、上 雅子さんのピアノで演奏されました。楽譜には「愛情をこめて」(Affettuoso ♩=80)の指定があり、4分の4拍子でゆったりと揺りかごに揺られるように、そして子どもをみつめる母親の優しいまなざしに溢れた曲となっています。

「おかあさんのでのひらに わたしのてをのせました やさしくわらいながら きゅっつつんでくれました」。つづいて「おとうさん」のては、照れながらも強くつないでくれ、最後に小さなおとうとの小さなてに指をのせると、そっとにぎり返してくれました。

中野さとみさんに、作曲にあたり苦心した点は如何ですかとお聞きしたところ、意外にも「苦心した点は不思議なことにありませんでした。こどもの気持ちを想像しながら歌詞を読むごとにメロディが自然に頭の中に流れてきて、しいて言えば、その言葉に沿って自然に出てきたメロディを、壊さないように急いで書き留めたことかもしれません」とのことでした。

日本童謡協会

一般社団法人日本童謡協会は、1969(昭和44)年4月創立されました。同協会では、先人のすぐれた童謡を受け継ぐのみならず、現代の子どもたちに愛される新しい童謡の創作をめざしています。初代会長はサトウハチロー、2代会長は中田喜直、3代会長は湯山 昭、現会長は早川史郎の各氏です。

日本童謡協会および「ふたば賞」については、拙著「童謡と唱歌どちらがうのか？」(M-199)でも紹介していますので、ご参考までにご覧ください。

[https://rkato.sakura.ne.jp/music/m199_douyou to shouka dochigauka.pdf](https://rkato.sakura.ne.jp/music/m199_douyou_to_shouka_dochigauka.pdf)

第46回童謡祭

童謡祭は前後半二部構成、テーマごとに何曲かずつをまとめる形で演奏されました。たとえば、「草花や木の歌」「食べ物の歌」「家族の歌」「季節の歌」「空の歌」「ともだちの歌」などなどテーマごとの48曲が披露されました。途中休憩を挟んだ後半の最初に「ふたば賞」受賞3曲が演奏されました。

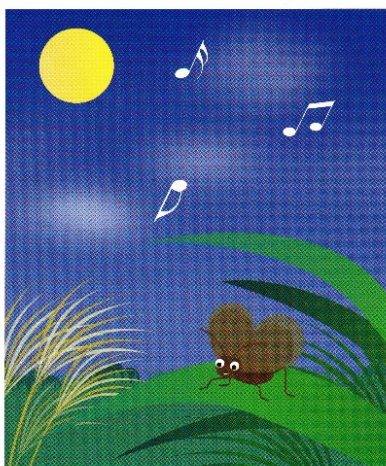
筆者はふだん大人の合唱曲を聴く機会が多く、童謡ばかりのステージは初めてでしたが、なかでも、児童合唱団の「ひつじ合唱団」「クラウン少女合唱団」の演奏レベルの高さには感心しました。

The Festival of Children's Songs 2024

第46回 童謡祭

2024年9月7日 土 14:00開場 14:30開演

板橋区立文化会館大ホール



主催 ● 一般社団法人日本童謡協会 共催 ● 公益財団法人板橋区文化・国際交流財団
後援 ● 一般社団法人日本音楽作家団体協議会(FCA)

[Back](#)

音楽・合唱コーナーTOPへ

[Home](#)

Topページへ戻る